

利用することにしたカードをこの台紙に置きましょう

使うカードだけでなく、①～③の各時期に生活する場所や、使う予定のカードでいくらお金が入るのかも考えてみましょう

① 災害直後

生活場所を記載しよう	ボランティアの支援 片付けや土砂撤去など	支援法の基礎支援金 全壊100万円 / 大規模半壊50万円 / 半壊で解体や長期避難も100万円 (単身は4分の3)	生活再建に使えるお金の合計 1780万円
避難所 数日から数か月の利用(閉鎖まで数年に及ぶことも)	得られるお金	100万円	当初の貯金 500万円
			+
			合計 → 100万円

② 数か月から数年

生活場所を記載しよう	義援金 家族の死亡・住家被害の程度等に応じ支給 金額は災害ごとに異なり、何度かにわけてもらう	自治体の独自支援金 全壊での加算。半壊、床上浸水などでの支給など多様	災害援護資金貸付 世帯主の1か月以上の負傷、家財の損害、住家被害の程度に応じて最大350万円の貸付	火災・地震保険 地震保険は火災保険の50%が契約金額の上限 地震保険なら津波、噴火も対象	
仮設住宅 原則2年以内(それより短いことも延長も) 資力要件一応あり。半壊でも入居可能性	得られるお金	100万円	30万円	350万円	300万円
				合計 →	780万円

③ その後

生活場所を記載しよう	公費解体 半壊以上の家屋や一部事業所を解体・撤去 解体か修繕かは専門家相談などで慎重に検討を	支援法の加算支援金 建設・購入200万円/補修100万円/民間貸借50万円 (単身は4分の3)	リバースモーゲージ貸付 60歳以上 自宅などを担保に修繕・建替・購入の借入。利息のみの返済	
建替えた自宅	得られるお金	100万円	300万円	合計 →
				400万円